

2019年10月24日(木) 6年生「AB組 いざ鎌倉へ」

今週の6年生AB組は社会科の鎌倉調べ学習がひと段落し、昨日(23日)鎌倉学習に行ってきました。

平安時代に源氏と平氏が多くの合戦を交えたあと、源頼朝が鎌倉の地(三方が山で、前方が海という要塞都市)にどうして幕府を開いたのか、

また800年前に生活をしていた人の思いを感じに行ってきました。



武蔵野東中学校で実施している、
京都・奈良学習(東大寺の大仏見学)に
繋げていく意味もあります。

鎌倉駅前に到着したバスから若宮大路の段葛(だんかづら)を歩き、鶴岡八幡宮へ。源平合戦の最中に頼朝が源氏の勝利を願って造らせた源氏池と平家池を見てから記念撮影をして班行動、自分たちで調べた場所を実際に見てまわりました。



寿福寺では北条政子のお墓を通り、ハイキングコースをぬけて源氏山公園まで行きました。そこで楽しみにしていたランチタイム。その後は化粧坂の切り通しを歩いて鎌倉時代の移動の大変さを体感し、鎌倉大仏(高德院阿弥陀如来坐像)では大仏の大きさや螺髪(らほつ)の数、与謝野晶子の歌碑などを実際に見ることを楽しみました。おみくじやお守りなどのお土産を買っている児童もいました。



今回は事前に調べ学習をしていたので、歴史を体感できる有意義な時間を過ごすことができました。

調べ学習では来年の Tokyo Olympics 以降、さらに多国籍になる東京を見据え、英単語や外国語を含めた調べ学習を行ってきました。また現地についてから外国人向けに英語で応える練習をする児童もいました。小町通りを歩いていた時に、気軽に外国人観光客に声をかけている児童もいたので、鎌倉のことを一つでも外国人に紹介できるようになるとうれいす。